

薬連ハイライト

日本薬剤師連盟

松本純先生国務大臣に就任する

8月3日に発表された第三次安倍第二次改造内閣において、薬剤師議員である松本純衆議院議員が国務大臣〔国家公安委員会委員長、海洋政策・領土問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣（消費者および食品安全・防災）〕として初入閣を果たされました。そして担当大臣記者会見に於いて、8項目の事項を述べられました。

1. 「世界一安全な国、日本」をつくるため、犯罪に強いまちづくりの推進、振り込め詐欺の撲滅、ストーカー・DV事案や凶悪犯罪への対処、インターネット利用を含めたサイバー空間の安全確保、組織犯罪対策等の強化を一層推進する。
2. テロやサイバー攻撃をはじめとした国際化の進む組織犯罪に対応する為、関係大臣と連携を図りながら、必要な体制の強化に取り組む。
3. 我が国の領土・領海・領空の警戒警備については、関

係大臣と緊密に連携し、緊張感を持って、情報収集を行うとともに、事態に応じて我が国の法令に基づき適切に対処する。

4. 海洋基本法に基づき、国の海洋権益を確保する為、関係大臣と協力して、総合政策を推進する。また、国境離島の適切な振興・管理に関する施策の検討を進める。

5. 国民の生命と財産を守り抜く為、国土交通大臣など関係大臣を主導して、公共施設や交通インフラ、エネルギーインフラなどについて、事前防災の考えに基づいた「国土強靱化」に取り組む。また、国土強靱化の取組を地域経済の中長期的発展の呼び水とするとともに、雇用創出につながるよう進める。

その他6. 災害について7. 消費者目線に立った行政機能の強化、公正で持続可能な社会環境づくり8. 食の安全・安心を図るため「食品表示の一元化」などを整備する等多くの職務を総理からご指示されたとの事でした。

もとゆき便り

平成29年度予算概算要求

参議院議員
藤井 もとゆき

私は今般、自民党総務副会長に任命されました。総務会は常設する党の最高意思決定機関であり、細田会長を補佐し、その重責を果たして参りたいと思います。

さて、平成29年度予算の概算要求は8月末に各省庁から提出されました。要求総額は101兆4707億円となり、3年連続での100兆円超えとなりました。厚生労働省の概算要求額は31兆1217億円、平成28年度当初予算に比べてプラス2.7%、8108億円の増額要求となっています。このうち年金・医療等に係る経費は、高齢化に伴う社会保障費の自然増分として6400億円を加え、前年度当初予算比2.3%増の総額29兆1060億円となっています。

厚生労働省の要求項目うち、医薬品等に関係する主なものは、

- 全国の薬局が「かかりつけ薬局」として地域包括ケアに貢献できるよう、モデル事業を充実・発展させるとともに、「患者のための薬局ビジョン」実現への薬局の取り組み状況を把握する仕組みを構築する
- 「医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興

に関する懇談会」の提言を踏まえ、ベンチャー発のイノベーションを促進するための医療系ベンチャーの育成、支援をする

- 革新的な医薬品について、有効性・安全性を確保しつつ最適な使用を進めるため、当該医薬品を必要とする患者や使用する医師・医療機関の要件等に関するガイドラインを策定する
- 日本初の革新的な医療機器・再生医療製品の有効性・安全性に係る評価方法を策定・確立するための研究を実施するとともに、他国に先駆けて国際会議等に提案し、評価方法の標準化を図る
- AMR（薬剤耐性）に関する調査研究、国際協力、普及啓発を行うなど、その対策を推進するなどです。

年末の政府予算案の策定に向け、社会保障費の自然増への対応や消費税率の引き上げ延期による財源の確保が課題となりますが、医療・介護等の社会保障の充実に必要な費用の獲得に努めて行きたいと思います。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfuji.jp